

### 人のうごき

平成24年3月届出分を掲載(希望者のみ)

#### おたんじょう

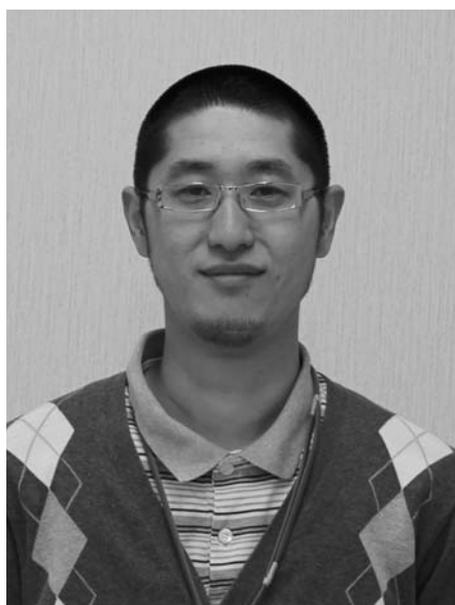
- 熊谷 梨央<sup>りお</sup>ちゃん (裕治・寿代) 幸町
- 原田 朔空<sup>さく</sup>くん (尚樹・亜沙美) 南町
- 高橋 幹奈<sup>かんな</sup>ちゃん (司・篤子) 寿町

#### ごけっこん

- 能登 貴嗣<sup>きみ</sup>さん 脇坂 早織<sup>はや</sup>さん 緑町

#### おくやみ

- 本間 蓉子<sup>よう</sup>さん 67歳 南3の1
- 澤岡 武雄<sup>たけお</sup>さん 93歳 南7の5
- 杉野 徹<sup>てる</sup>さん 69歳 北町
- 本岡 貞<sup>まこと</sup>さん 79歳 幸町
- 飯澤 サタ<sup>さた</sup>さん 75歳 栄町
- 布施 キヨ<sup>きよ</sup>さん 86歳 栄町
- 石原 正<sup>まさ</sup>さん 83歳 栄町
- 齋藤 美津恵<sup>みづゑ</sup>さん 95歳 天売



特別養護老人ホーム「しあわせ荘」生活相談員

### 佐々木 一樹<sup>かずき</sup>さん (33才・幸町)

東日本大震災から一年  
支援の想いを  
これからもつなげたい

「テレビ報道や新聞を見て、震災直後から、自分に何ができるかを考えていました。一人でもいいから寄り添い、助けになりたいという想いが強くて、個人でボランティアに行くことを決めました」そう語る佐々木さんは、昨年7月中旬に1週間、宮城県石巻市の福祉避難所で支援活動にあたりました。

「高齢者や障がい者の方々の避難所で、自分は介護のお手伝いができると思って行っただけですが、実際には、体操をしたりお話し相手になったりでした。現地スタッフに、避難所は「一時的な場所、何でもしてもらえぬ場ではない。自分のことは何でも自分でしてもらおう関わり方をしてほしい、被災者の自立のお手伝いをしてほしいと言われ、共感しました」。つらい内容の話もありますが、先日の追悼復興イベントでは、体験をありのままに自分の言葉で伝えたくて、その時毎日つけていた日記を体験発表に使用しました。一年たった今も被災地を応援したい想いは変わらない。イベントに参加した人もみんな想いは同じ」と言います。

「何かあつてからでは遅いので、そのための準備が必要。いかに行動するかが大事です」と静かな口調で語ってくれました。

編集後記

#### 人口と世帯数(3月末)

人口	7,936人	(-75)
男	3,757人	(-38)
女	4,179人	(-37)
世帯数	3,830世帯	(-28)
	( )	は前月比

